～宮大生のための海外渡航～

オタゴ大学ランゲージセンター留学報告

教育文化学部・研究科　言語文化学科・課程・専攻　２年　（　柿木滉亮）

〇派遣：ニュージーランド・オタゴ大学ランゲージセンター

〇派遣期間：　2013 年　2 月　19 日　～　2013 年　3 月　23 日

〇渡航時の学年：　1 年次

〇渡日前の手続について

・参加に至った経緯について：

高校の英語教師になるという夢があり、英語が大好きでもっと話してみたいと考えていたから。また、教師になるためには他人と同じ勉強をしていてもつまらないので、実際のネイティブスピーカーたちと話をして、本物の英語について学びたいと思ったから。

・渡航に関する手続について：

参加申し込みについては、学校で配布される資料を拝見。それ以降については、日本からニュージーランドに授業料を送金しなければならないが、それが一番大変だった。

・査証取得：

なし

★体験記：

ホームステイ先は本当に素晴らしかった。とても親切で、至れり尽せり温かくもてなしてもらった。学校は各国からの留学生が勉強しに来ていて最初はとても不安であったが日本人とはあまり話さないようにして、海外の友達を作るようにしていた。みんな授業中は積極的に発言していた。街並みについては、綺麗な建物、自然豊かな風景と、日本とは全く異なっていてとても大好きになれた。

〇ホームステイ先の環境：

設備、環境は完璧。ファミリーもとても優しくて、本当に人間の温かさを感じた。ステイ先には中国とロシアからの留学生も来ていてそこでも友達が出来てしょっちゅう連絡をとっている。日本に帰ってきたらもう一度ステイ先に帰りたくなるようなファミリーでした。

〇大学のサポート状況：

特にランゲージセンターのサポートを頼らないで生活することができた。

〇授業の様子：

みんな積極的に発言。日本ではあまり見られる光景ではないので最初は恥ずかしながらの発言であったが、そのうち慣れてきた。

〇他の留学生たちの様子：

東南アジア、クエート、サウジアラビア、中国、韓国の生徒がとても多かった。

〇現地学生との交流：

現地学生との交流は特にない。本学とランゲージセンターは結構な距離があったのであまり関わ

りはないが、自分たちでいろいろと積極的に話しかけていたので現地の学生とも数は少ないが友達になれた。

〇街の様子:
街並みは素晴らしいの一言。道路にゴミなどは落ちているが、広場や施設はとても綺麗。公共の施設は日本と違った部分が多く、バスは一日にほんの少ししか走っていない。タクシーも予約をしないと乗れない。

〇その他:
とにかく行ってみてください！！！

〇今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ
英語が話せないと自身のない人も大丈夫。クラス分けのテストがあって自分に適したレベルのクラスで勉強できるので安心です。ホストファミリーと積極的に話そうとすれば、短い一ヶ月ではあるが確実に英会話のスキルも伸びます。